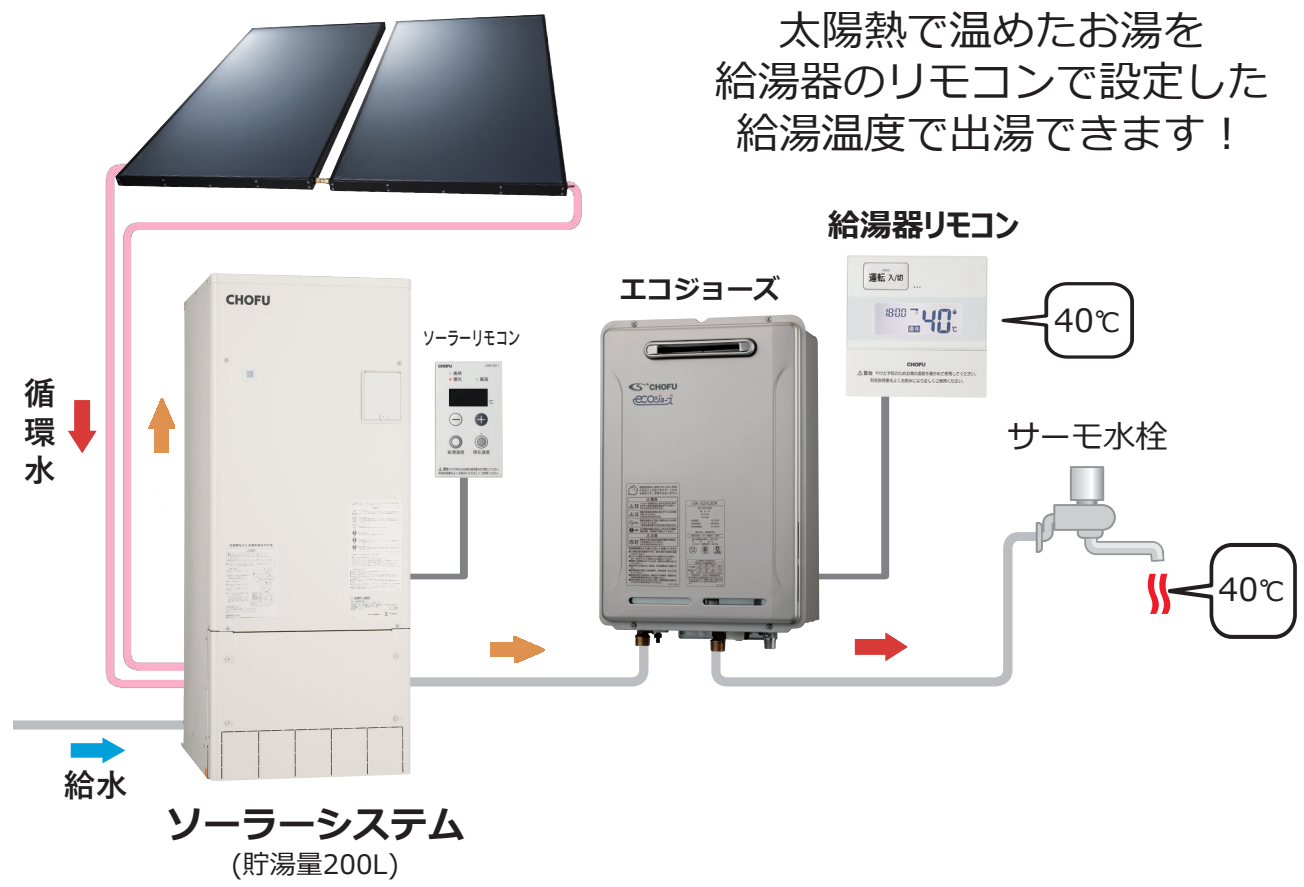
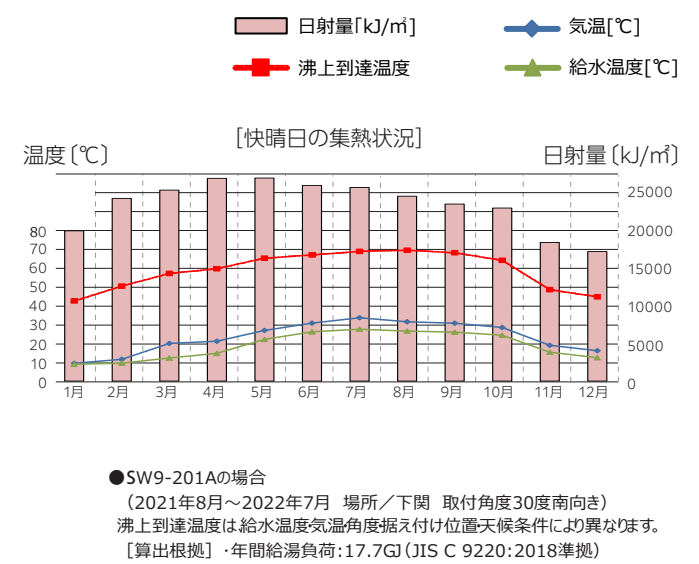


エネワイター  
太陽熱利用給湯システム **SW9-201A** + **エコジョーズ** **GK-S2030K**

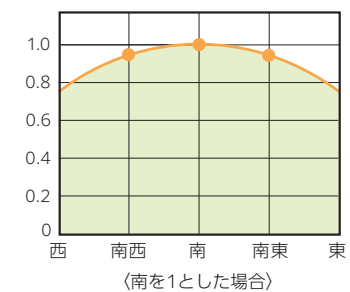


■年間必要熱量のほぼ

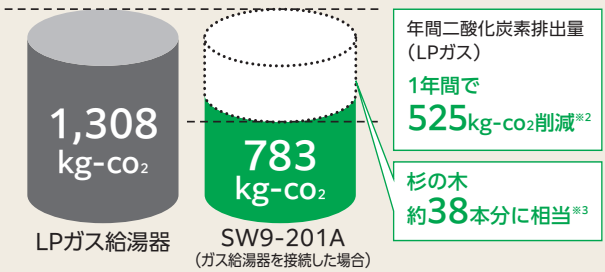


■正しい設置で大きな効果を！

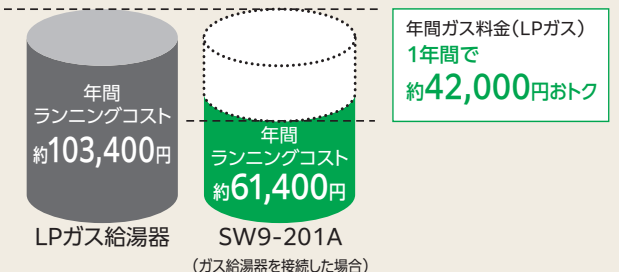
集熱量が最高になるのは  
真南・取り付け角度 約30度



■年間CO2排出量



■ランニングコスト



※2:LPガス換算 ※3:杉の木1本あたりのCO<sub>2</sub>吸収量は、1年で平均して約14kgとしています。(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省/林野庁より試算)  
[算出根拠]  
・年間給湯負荷:17.7GJ(JIS C 9220:2018準拠) ・年間集熱量:場所/山口県下関市 真南向き、角度30度での平均値 ・電気のCO<sub>2</sub>排出量:0.476kg/kWh(平成24年9月の電気事業連合会「電気事業における行動計画」より) ・LPガスのCO<sub>2</sub>排出量:3.00tco<sub>2</sub>/t(平成22年3月の環境省、経済産業省算定省令による) ・ガス給湯器の給湯効率81.1%・ふろ効率80.7%として算出 ・ガス発熱量:50.8MJ/kg  
・ガス料金:451.99円/m<sup>3</sup>(税込・広島ガス 2025年3月)  
●上記算出値についてはガス料金、使用時間、使用頻度によって変動します。

■勢いのあるシャワー (3階でも快適)

減圧弁設定圧力を370kPaとし、快適なシャワーが楽しめます。



■コンパクトで軽量のソーラーシステム

種類	外形寸法	質量
貯湯ユニット	高さ1372mm×幅560mm×奥行630mm	52kg
集熱ユニット	高さ56mm×幅1012mm×奥行1978mm/枚	36kg/枚

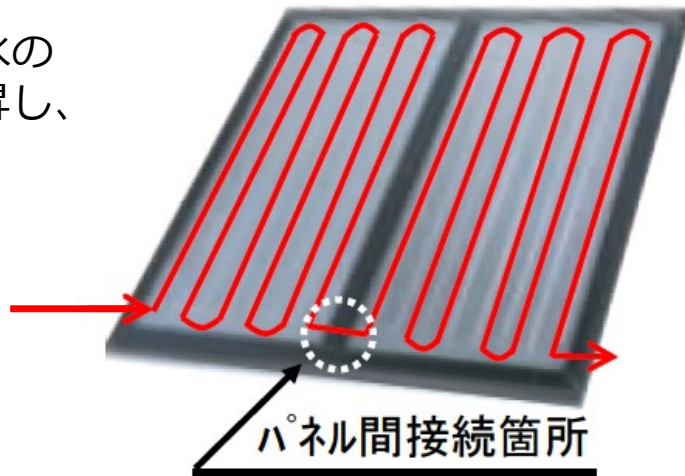
■いざという時も安心の設計

- ・貯湯ユニットの低重心化や固定脚の見直しにより地震に強い設計
- ・断水で困ったときも貯湯ユニットのお湯(水)が使用可能

## ■集熱ユニットのしくみ

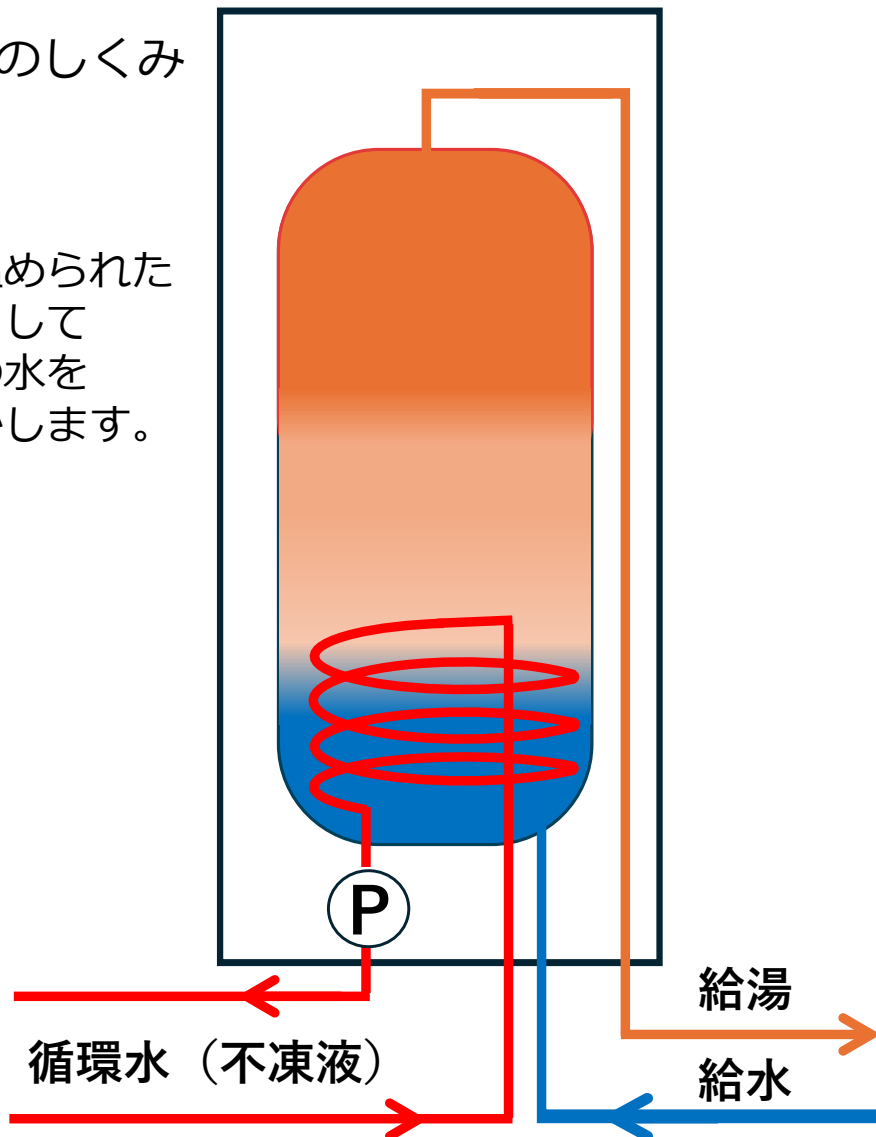
集熱ユニットにある循環水の温度が太陽熱によって上昇し、集熱を行います。

循環水(不凍液)



## ■貯湯ユニットのしくみ (簡略図)

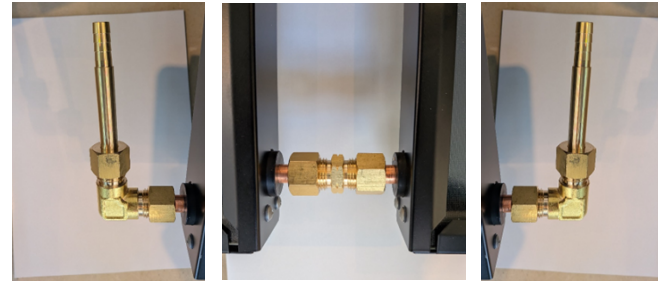
集熱ユニットで温められた循環水の熱を利用して貯湯ユニット内の水を温め、お湯を沸かします。



## システム価格例 (陸屋根設置)

システム構成		型式	標準価格	数量
本体	貯湯ユニット	SWT-204		1
	集熱ユニット	CP-203A		2
A 本体価格			¥514,800 (税抜¥468,000)	
集熱配管部材	配管継手セット	VS-HT-202	¥23,760 (税抜¥21,600)	1
	ツイン樹脂管	VS-OTK1-25	¥53,900 (税抜¥49,000)	1
集熱パネル固定部材	陸屋根設置架台	KN-3	¥44,550 (税抜¥40,500)	1
	架台用受台	UH-202	¥19,140 (税抜¥17,400)	1
	ステンワイヤー (30m)		¥4,400 (税抜¥4,000)	1
その他部材	循環水(不凍液) 10L	VH-LLB-10	¥13,750 (税抜¥12,500)	2
	配管カバー	VS-HC-9	¥11,660 (税抜¥10,600)	1
	アンカーボルト	VE-AB-4	¥3,960 (税抜¥3,600)	1
	アース棒	B-3	¥3,300 (税抜¥3,000)	1
	別売台所リモコン	CMR-2811	¥9,900 (税抜¥9,000)	1
	リモコンコード	RK-3P-15m	¥4,730 (税抜¥4,300)	1
B 部材価格合計			¥206,800 (税抜¥188,000)	
			¥721,600 (税抜¥656,000)	

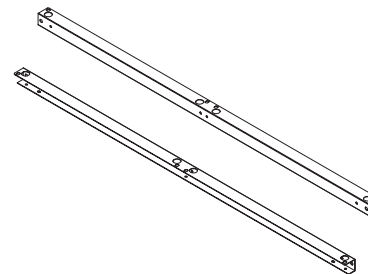
配管継手セット



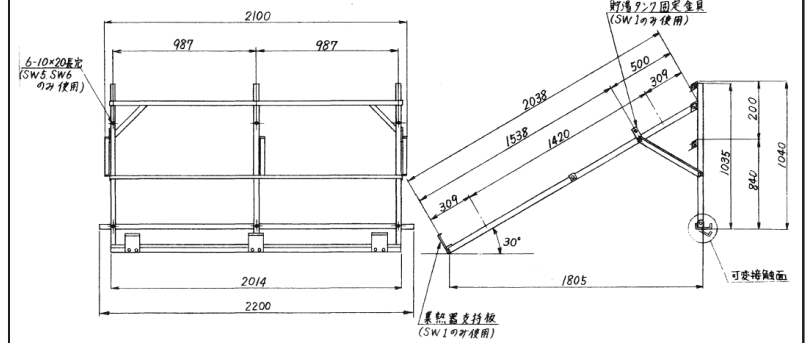
ツイン樹脂管



直置き・架台用受台



陸屋根用架台



## 沖縄に適した熱エネルギー

太陽熱給湯利用システムは太陽の熱エネルギーを利用しお湯を作ります。年間を通して暖かく、かつ日射量が豊富な沖縄県では3~4㎡の集熱面積で年間給湯エネルギーの50%をまかなうことができ、沖縄県においてきわめて有効な省エネ手段です。

※沖縄県公式HP 亜熱帯型主エ住宅が「ド」ライン参照